



犬山動物総合医療センター

動物病院だより

愛知県犬山市羽黒大見下29

TEL 0568-67-1267
FAX 0568-67-8008

第252号
2026年2月15日

<http://www.inuyama-vet.com/>
E-mail info@inuyama-vet.com

猫のトレーニング(キャリーケースに慣らす編)

猫は犬と違ってトレーニングできないと思われがちですがそんなことはありません！

猫はとても賢い動物です

今回はトレーニングの基本とキャリーに慣らす方法その1をご紹介します



一番大切なこと



その猫さん、そのご家族によってトレーニングの速度は違います
その子その子にあったスピードでゆっくりとやりましょう

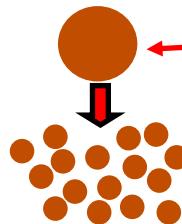
ごほうびを用意



トレーニングする子は何が好きですか？ おやつの場合は小さくちぎって
使います 1日のフードを容器に用意しておけば食べ過ぎを防ぐことが
できます その容器の中からトレーニングも使いましょう

始めの一言を決めましょう

ある言葉を言っておやつやフードを1粒与えます
言葉は短く言いやすい言葉がいいでしょう
「そう」「OK」「いいね」などがおすすめです



1cm直径のおやつはこれくらい
小さくちぎってあげましょう
1つで何度も教えられます



何度か繰り返しします

テストしましょう



猫さんがあっちを向いている時に決めた言葉を言ってみてください
振り向いたら覚えている証拠です



準備はできました

お勧めキャリーケース



前面・上部が開く

半分に分割出来る

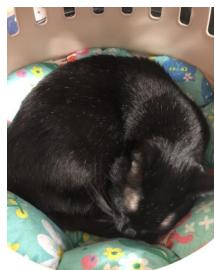


前面や側面に穴が開いている

そこからおもちゃやおやつを入れられる

敷物に慣らす

まずはキャリーに敷くマットにのってもらう、寝てもらう、気に入ってくれるところから始めましょう



ケースに慣らす

半分に分解して下側を猫さんがいつもいる場所に置いてみましょう

日なたぼっこできるような場所がいいかもしれませんね



ケースに慣れたら

ケースの中に慣らした敷物を敷いて、ねこじゃらしや食べ物でケースに入るように誘導します

入ったら教えた言葉！

そう！

猫さんがケースに入ったら先程教えた言葉を一言いいましょう「そう！」

そしてご褒美をあげてください（ケースの隙間からおやつを入れましょう）

扉はまだ閉めないで！

キャリーケースを安全基地だと猫さんに思ってもらうことが大切です

慣れてきたら数秒扉を閉めて、「そう」と言って隙間からおやつを入れましょう そして扉を開けます



徐々に扉を閉める時間を長くしていきましょう



キャリーケースを病院に行くときにだけ使ってしまうと
キャリーケース=怖い所に行く 恐ろしい物となってしまい
移動中の猫さんのストレスは多大なものになります
いつもの大好きな場所がただ移動しただけ、病院にいるけどここは
「安全基地」と思ってもらうようにしましょう

